

2020年10月9日
イオン北海道株式会社

**子育て支援や教育環境、動物園の充実に活用されます
「とがち帯広WAON」の寄付金を贈呈いたします**

イオン北海道株式会社は、10月13日（火）に、「とがち帯広WAON」のご利用金額の一部を寄付金として帯広市に贈呈いたします。

帯広市とイオン株式会社は、双方が持つ資源を有効に活用し、市民が心豊かに暮らし、夢や希望があふれるみらいのまちづくりに協働で取り組むことを目的に、2017年10月に「協働のまちづくりに関する包括連携協定」を締結し、その取り組みの一環として電子マネー「とがち帯広WAON」を発行しました。このWAONカードは、イオングループの各店舗やWAON加盟店でご利用いただくことにより、そのご利用金額の一部を帯広市に寄付し、子育て支援や教育環境、動物園の充実に役立てられます。

「とがち帯広WAON」の2019年度の寄付金総額は85万8,454円となり、こども未来基金やこども学校応援地域基金、おびひろ動物園ゆめ基金に積み立てられ、各事業の推進に活用されます。

当社は、今後もお客さまに便利にご利用いただけるWAONを通じて、帯広市との連携を深め、一層の地域活性化および市民サービスの向上に努めてまいります。

【「とがち帯広WAON」寄付に伴う感謝状贈呈式について】

日 時： 2020年10月13日（火）13：50～14：00
場 所： 帯広市役所4階 市長室
出席者： 帯広市長 米沢 則寿 様
イオン北海道株式会社 代表取締役社長 青柳 英樹
贈呈先： 帯広市
贈呈金額対象期間： 2019年3月1日～2020年2月29日
贈呈金額： 85万8,454円

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 環境・社会貢献・広報・IR部 電話：011-865-9111

◇SDGsの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。

この取り組みはSDGsの目標4、11、17の達成に貢献します。イオン北海道は今後もSDGsの取り組みを推進してまいります。



■「とちち帯広WAON」について

発行開始：2017年10月13日
発行手数料：300円（税込）
累計寄付総額：167万6,930円
発行枚数：約2万1,000枚（2020年7月末時点）



■イオンの電子マネー「WAON」の使用箇所について

使用可能箇所：道内で約9,500箇所（2020年3月末時点）

※自動販売機・タクシー・ドライバー端末を除く

使用箇所一例：イオン系列スーパーや「ローソン」、「ファミリーマート」「セイコーマート」、
「ツルハ」、「サツドラ」等

■帯広市との取り組みについて

当社は、帯広市との包括連携協定を基にご当地WAONを通じた寄付をはじめとして、まちづくり活動の推進や環境保全活動など、さまざまな取り組みを実施しております。

一例として、本年9月30日から10月4日までの期間、埼玉県にある商業集積「イオンレイクタウン」で北海道フェアが開催され、帯広市さまにも出展いただきました。市の観光や取り組みなどを紹介するとともに地元の物産品やスイーツなどを品揃えするなどし、帯広市の魅力を広く周知することができ、多くのお客さまがご利用されました。

また、2018年5月より十勝バスの定額運賃路線にてWAONの決済サービスを開始し、2019年2月より全国初の取り組みとして多区間運賃路線においてのWAONの決済サービスを開始しました。こういった「地域が交通で課題としている部分をキャッシュレス促進により解決を図った取り組み」が評価され、本年7月、北海道鉄道活性化協議会（事務局：北海道総合政策部交通政策局交通企画課）が推進する「北海道公共交通利用促進運動」に係る「民間企業の部」で表彰を受けました。

また、イオン帯広店と帯広市のマックスバリュ4店舗において、店頭で廃食油回収を行い、回収された油はバイオディーゼル燃料（BDF）として再生され、帯広市の公用車などで使用されています。